

＜ワクチャ事業第7回報告：福井県奥越高原青少年自然の家、「科学実験教室」：令和7年3月8日（土）、

14:00～16:30 実施>

一昨日、本ワクチャ事業の第7回を、福井県奥越高原青少年自然の家において行いました。これは当施設の“3月もりのアドベンチャースクール（1泊2日の合宿）”のプログラムの一部として実施されました。参加者は小・中児童生徒24名、キャンプカウンセラー8名、当施設のスタッフ（現職教員）数名。ふくい科学学園から4名が実験指導者として加わりました。当施設は大野市の経ヶ岳（標高1625m）の中腹近くに位置（海拔650m）しており、実験会場となった当施設の3階から眺める周囲の雪景色は格別でした。最初、全員が、こちらが用意した部品を使ってCD分光器を組み立てました（持ち帰り）。次に、3グループに分かれて、①光の実験、②シャボン玉の実験、③空気砲の実験を、ローテーションで体験しました。参加した児童だけでなく、キャンプカウンセラーの方々や当施設の先生方も、大変実験を楽しんでおられました。会場のコーナーには、手作り顕微鏡も展示し、休み時間を使って子どもたちに覗いてもらいました。実験が終了して片付けをし、17時半から当施設の食堂で子ども達と一緒に夕食をして帰りました。我々にとっても楽しい1日となりました。

＜会場準備の様子＞



会場の端に用意した
空気砲の実験コーナー



会場の一部に手作り顕微
鏡も展示



会場の机の上に、テキスト
とCD分光器の部品を配る

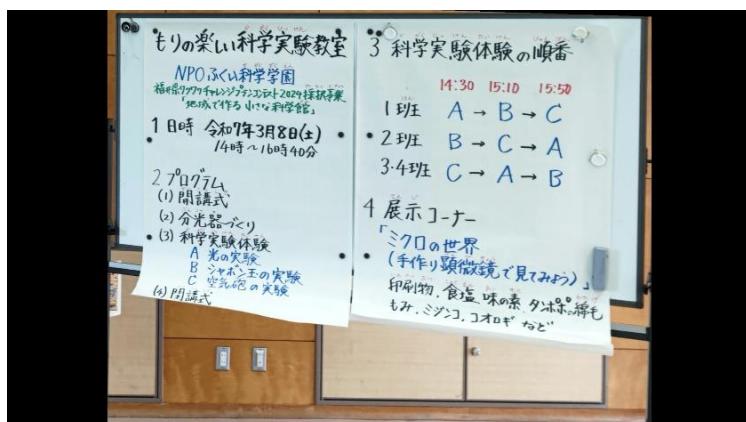


当施設の玄関近くにシャボン玉実験の道具を配備

<初めに説明>



3階の会場に集まった
参加者に実験について説明



実験のスケジュールを説明
するポスター

<CD 分光器の組み立て>



児童のCD分光器の組み立てを、キャンプカウンセラ一らがサポート



組み立てた CD 分光器を
空の方に向けて、太陽の
光スペクトルを観察
(右端の女の子たち)

<各実験の様子>

① 光の実験



組み立てた CD 分光器で、
蛍光灯、水銀灯、白熱電灯
LED 光源などの光のスペク
トルを比較



CD（細かい溝が回折格子と
して働く）に白色平行光線
をあて色が分かれることを
体験

② 空気砲の実験

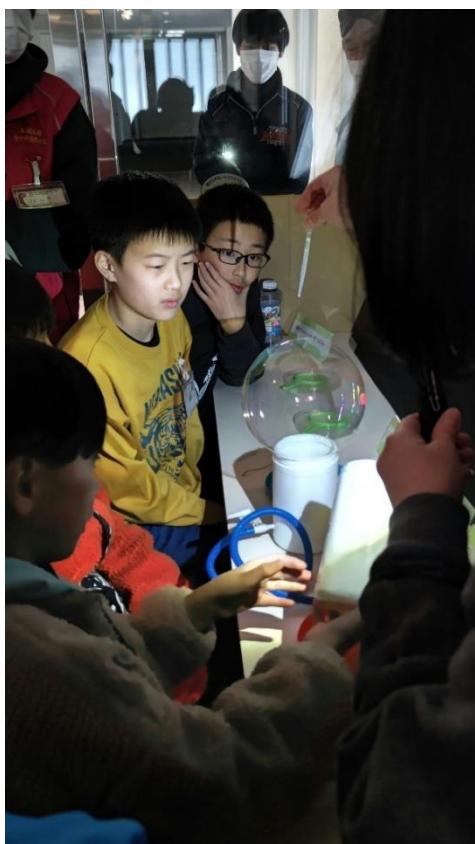


段ボール箱から打ち出される大きな煙の輪を待ち構える児童



ペットボトルに線香の煙を入れて小さな空気砲を打ち出す実験に見入る児童

③ シャボン玉の実験



スポイドから落とす水滴が、シャボン玉の膜を割ることなく貫通するのを体験



大きなシャボン玉の中に小さなシャボン玉を閉じ込め、しばらく共存しているのを観察